

ずっと大府 もっと大府

大府市議会議員 ふじもと宗久 政治活動新聞

令和5年夏号



市政・地域の情報、日頃の活動を発信中
お友だち登録をお願いします。



市議会議員としての二期目 課題を明確に、そして解決へ

本年4月、大府市議会議員選挙が執行され、多くの皆さま方のご支援をいただき、再び議席をお預かりすることとなりました。一期目の任期4年間の大半がコロナ禍という状況においても、私なりに地域をめぐり、市民の皆さまと顔を合わせる機会を大切にまいりました。



市民生活も日常に戻りつつあり、私もここで改めて課題を明確化し、その解決にむけ具体的に行動していきます。以下に、私が今後取り組む主な課題を記します。

ずっと大府で生きていく市民の皆さんにとって、もっと大府が住みよくなるために、皆さんと課題を共有し、ご意見を取り入れてまいります。

令和5年上半期の主な活動

- 1月 知北平和公園組合議会、大府商工会議所 賀詞交歓会、自民クラブ行政視察(沖縄県うるま市、浦添市、読谷村)、日高あきら後援会伊勢神宮初詣
- 2月 市議会(令和5年度予算上程)、愛知県知事選挙、石ヶ瀬自治区議会報告会、大府ばやし小唄保存会45周年式典、自民党大府市支部時局講演会、階(きざはし)安全環境勉強会
- 3月 市議会3月定例会・第1回臨時会、吉田保育園(新設)内覧会、愛知県議会議員選挙(無投票)
- 4月 大府市議会議員選挙、大府ロータリークラブで講演、森岡自治区総会、石ヶ瀬コミ総会
- 5月 市議会第2回臨時会、自主防災支部総点検、石ヶ瀬自治区議会報告会、大府商工会議所意見交換会、石ヶ瀬コミ防災研修会(浜松)、石ヶ瀬自治区総合役員会、大府市国際交流協会総会
- 6月 市議会6月定例会、知多北部広域連合議会、消防操法大会、自民党愛知県連大会

課題① 災害に強く、快適な 都市基盤整備

大府市の課題の一つは都市基盤整備の推進です。

まずは道路整備。現在工事中の東浦大府線の早期完成を、事業化目前の都計荒尾大府線、養父森岡線、田面交差点改良などの事業化を後押しします。さらには、全く手つかずとなつていている柵山大府線を延伸したJR跨線橋整備、そして大府駅西と健康の森を直線的につなぐ都計健康の森線の事業化への道筋をつけることを目指してまいります。

施設整備としては、何といつても大府警察署(仮称)の早期着工。小中学校、公民館等の老朽化対策も急務です。

課題② 快適な移動手段の確保 通院、買い物支援

今回の市議選の中で、支援者の皆さまから最も多く寄せられたご要望は「ふれあい循環バス」の利便性の向上でした。大府市は今秋、新たにバス一台を追加し、中央コースの便数を増やします。来年度以降も増車、増便を図って行く予定のことです。

今後は、ニーズが多様化する状況下において、循環バスだけでなく、オンデマンドタク

シー(乗合タクシー)といった新しいシステムの導入、民間の商業施設や医療機関と連携した路線の新設など、様々な移動手段の構築を研究、提案してまいります。

並行して、買い物に不便な地域への商業施設の誘致、そして通院が困難な方にICTを駆使した在宅医療の更なる拡充も課題として取り組んでまいります。



今後、増便・増車が予定されているふれあい循環バス

課題③ 子どもたちの健全育成

私の政策の柱の一つは、『子どもたちの読書環境整備』です。子どもたちが、生きる力の源である「読解力」を身に付けるための施策をどんどん提言してまいります。■関連②面

地域の安全対策として、特に児童生徒の通学路における危険箇所の補修・改良は、学校や地域の皆さんと連携して対処いたします。また、自治区、コミュニティ、ボランティア団体などのメンバーとして、或いは

楽しく、愉快地 レクリエーション

コーラス野ばら

第2、第4木曜日夜 横根公民館



大府ばやし小唄保存会

大府公民館ほか



若い頃にはまるで縁のなかった合唱と踊り。晴れの舞台に立つときに、こうして衣装に着替えると、なんだかサマになっていませんか。コロナ禍で限定的だった活動が徐々に再開しつつあります。コーラス野ばらの次のお披露目は、秋の産業文化まつり。そして大府ばやし・小唄保存会は何ととっても夏の盆踊りです。日常と異なる空間での活動は、気分転換には最高です。

議会人事 議会運営委員会、厚生文教委員会 知多北部広域連合議会議員

本年の議会人事は、議長、副議長にそれぞれ女性が就任したことが何かと話題になっています。

今年度の私は、議会運営委員会(議会進行など)について確認し、円滑な会議の進行のための調整をする)のメンバーになりました。

私個人の活動として、啓発や見守り、あいさつといった運動を積極的に行っていきます。

その他、部活動の地域移行、子どもたちの居場所作り、子ども会やPTAの在り方といった課題についても、地域との関わりという視点で解決を模索したいと思っています。

常任委員会では、厚生文教委員会(福祉、子育て、教育)の所属となりました。年間の調査研究テーマを「子どもの多様な学びについて」とし、不登校やヤングケアラーの対応といった課題を勉強します。

また、介護保険事業に取り組む知多北部広域連合議会議員(任期は2年)にも指名されました。

5年目になりました 街頭あいさつ活動



大府駅西交差点 毎週月曜(雨天翌日)6時半~8時

顔の見える議員を目指しはじめた街頭活動。この活動中に、地域のご相談を受けることも増えてきました。皆さんに少しでも行政や議会を身近に感じていただけるよう、今後も活動を継続していきます。

一般質問、議員の見せ場

政策を実現するために

議員活動の中でもっとも力を注いでいるのが一般質問です。私自身の掲げた政策目標実現のため、そして市民の方にとって喫緊の課題解決のための大事な機会と捉えているからです。毎回、準備には十分に時間をかけ、傍聴や中継録画をご覧の皆さまにも、できるだけわかりやすい表現を意識しながら取り組んでいます。

3月議会「子どもたちの読書環境整備」 6月議会「投票率の向上を目指す施策」



大府市議会の傍聴は中学生以上であればどなたでも可能です。市役所6階にお越しください

ブックスタートの取組

私は当選以来、一年に一度は必ずテーマとして取り上げている「読書」。その読書が、子どもたちを取り巻く様々な環境の変化の中で、学校でも家庭でも地域でも、後回しにされがちな状況にあります。なぜ子どもたちにとって読書が必要なのでしょう。本は子どもたちに生きる力を与えてくれるのです。生きる力は、豊かな知識とそれを伝える表現力にあります。読んで、内容を理解し、自分言葉に置き換えることができる能力が「読解力」です。

まずはそのことを保護者や先生方にしっかりとご理解いただくことが重要であり、今回は「ブックスタートの取組」を提案いたしました。ブックスタートとは、乳幼児

大府市議会で行った14回の一般質問のテーマ

R1.4月	大府を読書のまちに
R1.9月	長草周辺の道路整備
R1.12月	大府駅周辺のまち美化
R2.9月	大府PA周辺整備
R2.12月	PCR検査対応
R3.6月	ウェルネスバレーと大府駅西
R3.9月	読解力向上
R3.12月	危機管理と国民保護
R4.3月	学校図書館の活用
R4.6月	JR新駅予定地の有効活用
R4.9月	男性問題について
R4.12月	マイナンバーカードの活用
R5.3月	子どもたちの読書環境整備
R5.6月	投票率の向上を図るために

(令和2年3月、6月はコロナまん延に鑑み自粛)

の健診などの機会に、お母さんに読み聞かせの「体験」と「絵本」そのものをセットでプレゼントするという事業のことで。全国で約6割の自治体が実施しているこの取組みを是非とも大府市で実現させたいと思います。



「読書力」～読書は力だ 齋藤孝著
「子どもと本」松岡享子著
「ブックスタートの20年」

投票機会の拡充を

本年4月に執行された大府市議会議員選挙の投票率は49.7%でした。稀にみる激戦となり、投票率は前回を4.4ポイント上回る結果となりました。それでも有権者の半数が棄権という状況を私は重く受け止めています。高齢化、生活の多様化という状況下で投票率向上を図るには、身近に投票所があるということが重要です。そこで期日前投票所を大型商業施設に設置すること、選挙当日の投票所は市内にあるものの投票所に行っても投票が難しいようにすることを提案いたしました。

そのためにはICTの活用が欠かせません。コロナ禍での各種支援や教育の分野で示されたICT化の取組みを、この投票環境整備の分野でも発揮されることを期待します。そして近未来の目指す

会派行政視察

「平和に勝る福祉なし」

大府市ではこれまで、市内の中学生を「平和大使」として、広島、長崎、沖縄などに派遣してきました。昨年の平和大使による報告会を参考に、本年1月、沖縄県読谷村を視察してまいりました。



『読谷村にある地域資源を村民のジブン(知恵)で活用して、モウケ(経済・教育等)を享受できる地があるのが読谷だ...』

沖縄県読谷村の平和行政ほか

今なお、多くの米軍基地が存在する沖縄本島ですが、読谷村役場を始め、スポーツ、文化施設といった住民の新たな暮らしのための施設を、返還された軍用地跡にあえて集

積させたところに、平和行政の一端を感じました。村役場での説明後、昨年の大府平和大使の視察コースに

答えは身近にあり、現場にあり

地域の方々と様々なふれあいの中で

現場を歩く、現場に赴く

民間企業の営業を三十年勤めてきた私のモットーは「現場主義」。実際に歩いてみる、体験してみる、ということです。地元での通学路での見守り活動「勝手に見守り隊」に引き続き、実際に通学班の子どもたちと一緒に小学校まで歩いてみるという「勝手に通学団」を始めました。また、石ヶ瀬自治区で下校時に合わせた「徒歩パトロール」の取り組みにも参加しています。歩いてみると、見ているだけではわからない発見があるものです。これ



「勝手に通学団」

「勝手に通学団」は、地域の声を吸い上げるには、気軽に話かけていただける雰囲気作りも大事だと思っています。大府市内の各地域では様々なイベントで、親睦や交流が盛んに行われています。自治区、コミュニティなどの催しに加えて、広報おおぶ、市役所や公民館でのチャリン、SNSなどで情報を確認し、時間の限りの参加するようにしています。もし見かけてくださったら、是非とも声をおかけください。

いつもそこにいる



地元のグラウンドゴルフ大会

ひいらぎ山の子ども文庫

本やお話に出会える楽しい文庫です。毎週月曜 14~17時。詳しくはインスタで！



広告